



1 7月6日。道内陸上中長距離種目の祭典《ホクレンニースタンスチャレンジ》が初めて青葉陸上競技場を会場に開幕。各種目の優勝者インタビュウでは声をそろえて「間近での声援が力になった」と述べられていました。

2 7月18日。シルバー人材センターで《レクリエーション交流会》が開催。参加者は、同センターが仕事だけではなく、交流を楽しみお場でもあることを体験。会場が笑顔で満ちていました。

3 7月20日。フラダンス愛好者が集つ《常夏アロハ祭り》が道の駅で開催。華やかな参加者と常夏の音楽による新しい催しが千歳の夏を盛り上げました。

4 7月21日。総合福祉センターで、《視覚障がい者交流イベント》が開催。用具展示や各種コーナーが設けられ、盲導犬歩行を体験した皆さんは、その優しさや賢さに感心していました。

5 7月21日。車輪付事務イスを使った競技大会《いす1グランプリ》がニューサンロードで開催。5回目の今年は23チームが参戦し、観客とともに中心街に活気を生み出していました。

6 7月21日。千歳音楽協会の創立40周年記念演奏会が北ガス文化ホールで開催。150人による圧巻の《第九》のステージに会場が大きな拍手で満たされました。

国際交流の推進に生涯をかけた真鍋さんは、20年前の広報の取材で、大戦中に捕虜収容所で受けた相手側の親切な対応への感謝が発端と語る。アラフカの極寒の地に幾度も足を運ぶ《オーロラ》(表紙)の伝道師中垣氏も同じだ。苦境の中で得た感動や美しい事柄を広く後世へと伝えようとする人の気持は、なんと、優しいことだろう。

最近、広報活動を通して素敵な偶然に出会うことが多くなった。この幸運な偶然を手に入れる力のことを《セレニティビティ》というらしい。取材中、話が脱線することもありますが、そこから予想せぬ幸運に出会うこともあるので、それたまには良しとしてよう。セレニティビティでサマージャンボが当たらないかな(笑)

■ 今月の表紙
 姉妹都市提携50周年記念の中垣哲也さんの《オーロラ上映会》。赤いオーロラなんてあるのですね。「私たちは絶妙な調和とバランスで成り立つ奇跡の自然に抱かれている」と語る中垣さん。感動のひとつです。



7月21日/北ガス文化ホールのプラネタリウムで撮影